

京田辺玉露のスムージー「Smootea」

同志社女子大学の学生たちが考案した、京田辺市特産の玉露を使ったスムージー「Smootea (スムーティー)」の限定販売が1日、同志社前駅の前にある「よつ葉カフェ」で始まった。1日20杯限定で提供している。販売は5日まで。



同志社女子大の学生らが考案し、販売中のSmootea

「よつ葉カフェ」で限定販売

5日
まで

同志社女子大生ら考案

考案したのは、情報メディア学科の学生7人でつくる架空の企業「FRIIQQ (リラク)」。同学科では授業の一環として架空の企業を立ち上げ、地域貢献につながる事業を展開するとともに、学生たちならではの視点でまちの活性化策を探っている。今回は京田辺市特産の玉露をPRしようとして、スムー

ジーと玉露を掛け合わせたオリジナルの飲み物「スムーティー」を考えた。8月初旬から取り組み、9月には市の職員らを招いて試飲会を行った。そこで出た意見を参考に試行錯誤を重ね、10月中旬に完成した。スムーティーは玉露や牛乳、リンゴやバナナなどをミキサーで混ぜ合わせた飲み物。スムージーやラテのようなめらかな口当たりが特徴で、玉露に含まれるテアニンのリラックス効果が期待できるほか、果物の酵素を

多く含み、疲労回復効果が高い。価格は350円(税込み)。より多くの人に味わってもらおうと、販売期間中はFRIIQQの学生たちが店頭でPRするほか、チラシを配ったり、ツイッターなどで周知する。お客さんには飲んだ感想を書いてもらい、参考にしている。実際に味わった人の声では「玉露というと酸味が強い気がするが、スムージーだと気軽に楽しめる」「おいしくてリラックスできると高評価が多い」。

社長を務める3年生の齋藤陽さんは「京田辺市が玉露で有名というのを、大学生など若い人はじめ多くの人に知ってもらおうことがひとつの目的なので、皆さんに興味を持って飲んで頂けて嬉しいです」と話していた。

スムーティーは5日まで「よつ葉カフェ」(京田辺市三山水垣ノ内)で販売する。時間は午後2時から10時(ラストオーダーは午後9時)。

【鈴木啓子】